

令和元年度

帯広市文化賞

帯広市文化奨励賞

帯広市文化活動功労賞

令和元年11月3日

帯広市教育委員会

帯 広 市 文 化 賞



ながさわ ひでゆき
長澤 秀行 (65歳)

《略 歴》

昭和53年	帯広畜産大学畜産学部獣医学科 卒業（農学士）
昭和55年	帯広畜産大学大学院畜産学研究科獣医学専攻修士課程 修了（獣医学修士）
昭和59年	徳島大学大学院医学研究科博士課程 修了（医学博士）
昭和59年	徳島大学医学部 助手
昭和61～63年	米国・ケース・ウェスタン・リザーブ大学病理学研究所研究員
平成3年	徳島大学医学部 講師
平成5年	徳島大学医学部 助教授
平成7年	帯広畜産大学原虫病研究センター 教授
平成13年	帯広畜産大学原虫病研究センター長
平成14年	帯広畜産大学 副学長
平成16年	帯広畜産大学 理事・副学長
平成20～27年	帯広畜産大学 学長
平成28年～	公益財団法人とがち財団 理事長

《受賞理由》

氏は、免疫学及び原虫病学について長年研究に取り組み、特に感染防御免疫反応の分野において優れた学術的功績を挙げるとともに、帯広畜産大学において原虫病研究センター長、副学長、理事、学長を歴任し、地域の教育研究環境の充実に多大な貢献をしてこられました。また、地域貢献活動においては帯広動物園や十勝管内農業高校との連携活動、平成30年度に「文部科学大臣賞」を受賞した「馬介在活動室」による障がい者馬術振興に関する取組など様々な事業を実施し、更に大学と十勝地域の6つの試験研究機関との連携など、氏の活動は高い評価を得ております。

このような氏の長年にわたる活動は、地域文化の向上発展に大きく寄与し、特に功労が顕著であると認められることから、帯広市文化賞を贈り顕彰するものです。

帯広市文化奨励賞



かど りょうこ
角 良子 (61歳)

《略 歴》

- | | |
|----------|--|
| 昭和56年 | 武蔵野音楽大学音楽学部器楽科ピアノ専攻 卒業 |
| 昭和56年 | 東京にてピアノリサイタルを行う |
| 平成7～9年 | 第1回帯広市民オペラ「カルメン」公演 ピアニスト |
| 平成9年 | 札幌コンサートホール Kitara ショパン音楽祭に出演 |
| 平成10～29年 | 帯広市民オペラの会チーフピアニスト |
| 平成12年 | 十勝文化団体協議会文化新賞受賞 |
| 平成15年 | 帯広交響楽団 15周年特別演奏会ベートーベン作曲「第九交響曲」
合唱ピアニスト |
| 平成20年 | 全日本合唱連盟主催「全国おかあさんカンタート in 帯広」
セミナーピアニスト |
| 平成21年 | 帯広合唱連盟 50周年記念コンサート
「カルミナ・ブラーナ」ピアニスト |
| 平成29年 | 帯広市民劇場主催
「北の輝き vol.1 角 良子ピアノリサイタル」出演 |

《受賞理由》

氏は、ピアニストとしてソロ活動のほか、多くの演奏家や合唱団、和楽器と共演するなど多彩な活動を展開し、特に合唱ピアニスト、帯広市民オペラの会ピアニストとして高く評価されております。確かな技術に裏打ちされた演奏は、道内外の指揮者や合唱団等から絶大な信頼を得ているほか、子どもたちの合唱にもピアニストとして尽力され、多くの子どもたちに音楽の楽しさ、素晴らしさを伝えていきます。また、帯広少年院院生の合唱発表のピアニストや施設での演奏ボランティア活動を行うなど、地域に根ざした活動を続けてこられました。

このように氏は、地域文化の向上推進に真摯に活動されており、また、文化的技能が特に優秀であると認められることから、帯広市文化奨励賞を贈り顕彰するものです。

帯広市文化奨励賞



むらかみ よういち
村上 陽一 (50歳)

《略 歴》

- | | |
|----------|---|
| 平成7年 | 北海道教育大学札幌校2年生で、道展初出品、初入選
道展70周年記念大賞、平原社展70周年記念大賞、
帯広市民劇場新人賞の各賞を受賞 |
| 平成11年 | 二紀展初入選 |
| 平成11年 | 帯広弘文堂画廊大賞受賞 |
| 平成13年 | 道展会員に推挙 |
| 平成14年 | 第1回具象の新世紀展出品 |
| 平成18年 | 第25回損保ジャパン選抜奨励展出品 |
| 平成19年 | A造展 十勝若手作家展出品 |
| 平成19～28年 | 北海道現代具象展 第1回～第10回出品 |
| 平成22年 | JRタワー・アートプラネッツ2010出品 |
| 平成22年 | 二紀会準会員に推挙 |
| 平成29年 | 二紀会準会員賞受賞 |
| 平成30年 | 二紀会会員推挙 |

《受賞理由》

氏は、北海道教育大学札幌校（特別美術課程）在学時に道展（北海道美術協会）へ絵画作品を初出品・初入選し、以降美術教諭として教鞭を執るかたわら熱心な創作活動を続け、道展、平原社展、二紀展の各公募展へ絵画作品を出品して入選・受賞し、平成7年には道展70周年記念大賞、平原社展70周年記念大賞を受賞するなど高い評価を得ております。

更に、研鑽と実績を積み重ねる中で、北海道美術協会会員、平原社美術協会会員、二紀会会員へ推挙され、帯広・十勝、道内の絵画の若手作家を牽引するとともに、作品鑑賞会講師や審査員を担うなど、地域の美術活動の向上に積極的に取り組んでおります。

このように氏は、地域文化の向上推進に真摯に活動されており、また、文化的技能が特に優秀であると認められることから、帯広市文化奨励賞を贈り顕彰するものです。

帯広市文化活動功労賞



つしま たみこ
津島 民子 (81歳)

《略 歴》

- 平成5年 絵手紙全国大会を実行委員長として開催
平成7年 「絵手紙たなばた祭り」を実行委員長として開催
平成9年～ 十勝管内の絵手紙サークルをまとめ、「とから絵手紙の会」を設立
会長に就任
平成21年 帯広市民劇場奨励賞受賞
平成30年 イタリア・フィレンツェで開催のフィレンツェ日伊交流協会主催
「第20回フェスティバル・ジャポネーゼ(日本祭り)」に日本絵手
紙協会から参加、現地で絵手紙の実演・指導し、両国間の親善活
動を担う
令和元年 「絵手紙たなばた祭り」第25回記念展を開催

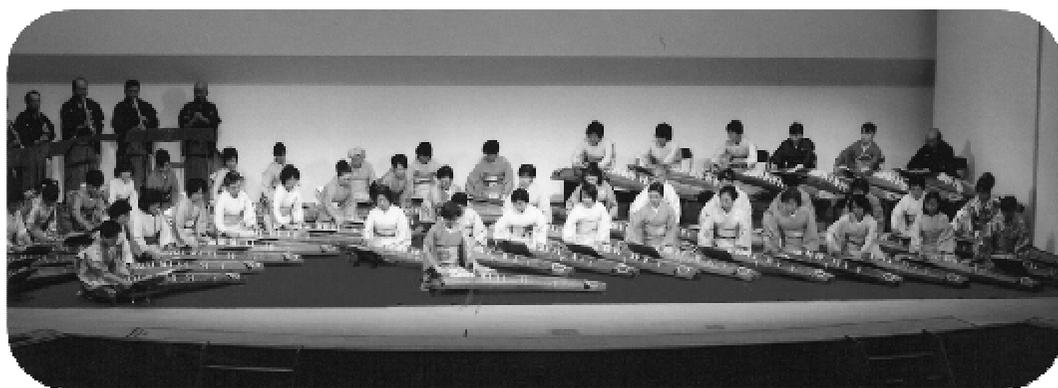
《受賞理由》

氏は、平成7年に実行委員長として「絵手紙たなばた祭り」を開催し、全国でも有数の規模の展覧会に育てあげ、現在まで継続して開催しています。また、平成9年に十勝管内の絵手紙サークルをまとめ、「とから絵手紙の会」を設立したほか、個人でも個展を開催するなど、絵手紙活動の普及啓発に努めております。

また、氏は地域での社会活動に積極的に取り組み、学校への出前講座や、月1回の帯広刑務所での受刑者への指導、福祉施設での指導を継続して行っており、更にそれらの作品を展覧会で展示するなど、受講者の教育や生きがいづくり、社会復帰などに貢献してこられました。

このように氏は、地域文化の向上推進にひたむきな努力を続け、その活動と功績が顕著であると認められることから、帯広市文化活動功労賞を贈り顕彰するものです。

帯広市文化活動功労賞



おびひろさんきょくきょうかい
帯広三曲協会
(設立 44 年)

《略 歴》

昭和50年	帯広三曲協会設立
昭和51年	第1回定期演奏会
昭和54年	十勝毎日新聞 創刊 60周年記念演奏会
昭和61年	創立 10周年記念演奏会
平成8年	帯広邦楽邦舞協会創立 50周年記念演奏会
平成13年	第20回定期演奏会
平成17年	創立 30周年記念演奏会
平成28年	帯広邦楽邦舞協会創立 70周年記念演奏会
平成28年	第30回定期演奏会

《受賞理由》

帯広三曲協会は、日本の伝統楽器である箏(こと)、三絃(さんげん)、尺八の邦楽演奏団体として、長年にわたり邦楽の伝承・普及と芸能向上に努め、意欲的な活動を続けてこられました。

また、小中学校音楽教諭を対象とした和楽器研修会や講習会に講師を派遣しているほか、平成2年より十勝管内の学校や幼稚園・保育園での訪問和楽器体験学習(出前講座)に取り組み、平成30年度末で165カ所を数えるなど邦楽のすそ野を広げてこられました。

このような会の活動は、地域文化の向上推進へひたむきな努力を続け、その活動と功績が顕著であると認められることから、帯広市文化活動功労賞を贈り顕彰するものです。